

2020年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 1 / 3

| 日程 | 研究科 | 区分 | 試験科目 |
|-----|----------|---------------------|------|
| B日程 | 応用言語学研究科 | 一般 社会人 外国人留学生 | 日本語 |

第1問 (1) ~ (10) の下線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- (1) 両者間で意思 疎通 が行われていないことが判明した。
- (2) この方法により問題を 回避 する。
- (3) この論文の結果には疑問を 抱いた。
- (4) この発話が 文脈 の中でどのように理解されるかを調べる。
- (5) 集めたデータは、3つの基準を 設定 して、グループ分けを行った。
- (6) 現状に合わせた新制度 構築 の必要性が指摘された。
- (7) 調査により人間形成に対する影響を 追究 する。
- (8) 本稿 で明らかにされたことは、以下の通りである。
- (9) A群はBの 下位分類 である。
- (10) 各学習者の 既有 知識の差が結果に影響している。

第2問 (11) ~ (20) の下線部のひらがなを漢字に直しなさい。

- (11) 文 さんしゅつ 能力を測るために、絵を見て文を記述する実験を行った。
- (12) このことばの使用 はんい を調べる。
- (13) 今後 けんしょう すべき課題が新たに見つかった。
- (14) この めいだい の真偽について考察した。
- (15) でんたつ 内容が意図と一致しているかを比較した。
- (16) ふへんてき 傾向があるかを判断する。
- (17) 文字通りに かいしゃく する。
- (18) Aを Bと ていぎ する。
- (19) 習得までの かてい を調査する。
- (20) 関係節の名詞 しゅうしょく について研究する。

第3問 次の文の下線 (21) ~ (25) に適切なことばを下の A~E から選んで、その記号を書きなさい。

- ・日本語力の不足により学習困難に (21) _____ 生徒がいる。
- ・そこで、現在の発話レベルに (22) _____ までの状況や
習得に (23) _____ 学習環境について調査を行う。
- ・この調査の結果とこれまでの研究による知見を (24) _____ ことで
(25) _____ 内容について考察をしていく。

A. 踏まえる B. 関わる C. 至る D. 陥る E. 導かれる

2020年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 2/3

| 日 程 | 研 究 科 | 区 分 | 試 験 科 目 |
|-----|----------|------------------------|---------|
| B日程 | 応用言語学研究科 | 一 般 社 会 人 外国人留学生 | 日 本 語 |

第4問 次の文章を読んで下の問いに答えなさい。

問題文については、
著作権の関係から掲載いたしません。

2020年度応用言語学大学院研究科博士前期課程入学試験問題

No. 3/3

| 日程 | 研究科 | 区分 | 試験科目 |
|-----|----------|---------------------|------|
| B日程 | 応用言語学研究科 | 一般 社会人 外国人留学生 | 日本語 |

- (1) 空欄 に入れるのにふさわしい語句を記しなさい。
- (2) 下線部B 試しに朝日新聞の過去の用例を記事データベースで調べてみました とあるが、その結果どんなことがわかったか、簡潔に記しなさい。
- (3) 下線部C 退潮しつつある をわかりやすく言い換えなさい。
- (4) 下線部D 校閲記者の目が光る新聞でも進む「にくい」の「づらい」化 のような現象について、あなたの考えを、120字以上150字以内で説明しなさい。